



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

JAHISデータ互換性実証実験2021 説明資料(共通情報編)

JAHISデータ互換性専門委員会
2021/12/17

1. 日程及び会場

- 日程: 2022年2月17日、2月18日、2月21日、2月22日
- 会場: 各社事務所(リモート参加)

2. 実施予定テーマ

HL7 FHIR仕様にもとづく実験

- ☐ 患者情報
- ☐ 病名情報
- ☐ 処方情報

3. 参加予定会社

全5社(富士通Japan、NEC、IBM、SSI、三栄)

4. その他

- 本実験に掛かる作業等費用(作業費・旅費・機器費用等)は参加各社負担
- 本実験専用のメーリングリストを開設し, 連絡事項やQA等を行う予定

5. 今年度の主なトピックス

I. 患者情報

- HL7 FHIRのPatientリソース(患者情報)、Observationリソース(身体所見、感染症)に対応

II. 病名情報

- HL7 FHIRのConditionリソース(傷病名・主訴)に対応

III. 処方情報

- HL7 FHIRのMedicationRequestリソース(現在の処方・現投薬情報)に対応

IV. その他

- 審査支援ツールのクラウド化
- 実験、審査のリモート対応

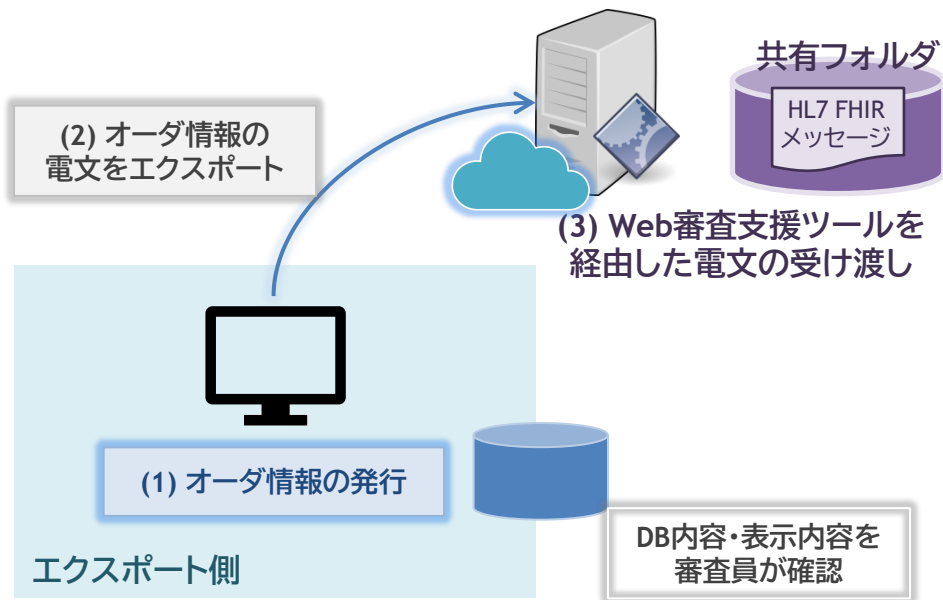
II.募集テーマと参加予定会社

各社にて参加可否を検討していただき、検討結果をもとに実施テーマを最終決定します

	患者情報	病名情報	処方情報
富士通Japan(株)			
日本電気(株)			
日本アイ・ビー・エム(株)			
(株)ソフトウェア・サービス			
三栄メディシス(株)			

実験テーマ毎に実験シナリオを決定し、実験シナリオに沿ってデータのエクスポートを実施する。

(1)実験概念図



エクスポート側:

シナリオに沿ってエクスポートした電文ファイルをWeb審査支援ツールを使用して共有サーバの共有フォルダにアップロードする

(2)判定方法

- 各テストの可否判定
 - 審査員による目視(電文、画面、ログ)判定
(審査員は各社から最低1名参加し、自社以外の審査を担当する)
※従来使用していた審査支援ツールはHL7 FHIRに対応していないため、使用しない
- システムとしての可否判定
 - 最低3社との相互接続完了で合格(参加会社が少ない場合は2社も可。)

(3)実験結果の反映

実験中: Web審査支援ツールの画面にリアルタイムで掲示予定

実験後: JAHISホームページ上に掲載予定

(参考) JAHIS実証実験2019の結果

	患者情報	処方情報	注射情報
日本電気(株)	○	○	○
(株)日立製作所	○	—*	—*
日本アイ・ビー・エム(株)	○	○	○
(株)ソフトウェア・サービス	○	○	○
三栄メディシス(株)	○**	—*	—*

III. 実験概要

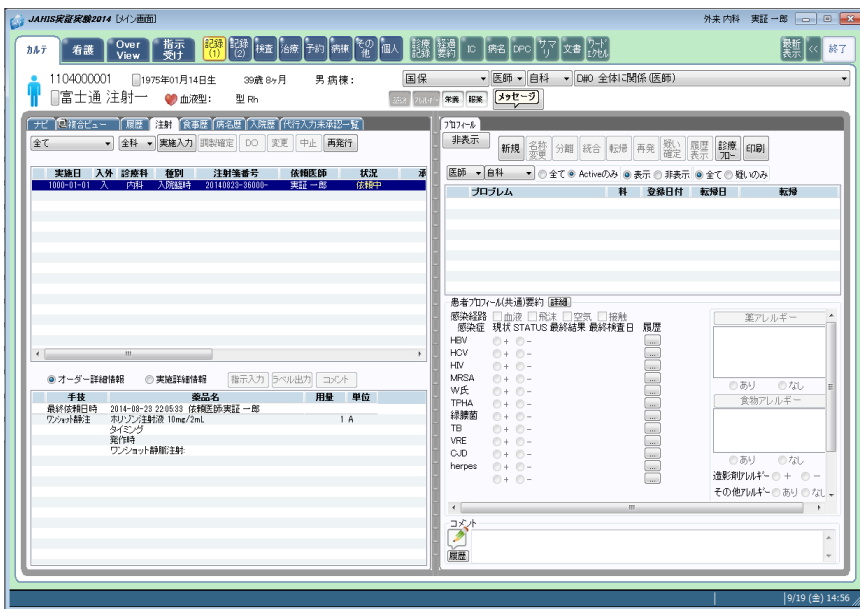
(4)成果物

Web審査支援ツールにて下記資料を提出

- ・2種類のログ(メッセージ・ログ、アプリケーション・ログ)
- ・自社システムの画面ハードコピー、データベースのダンプ内容

報告書は作成せず反省会で代替する

画面例



メッセージ・ログの例

```
MSH|^~¥&|ifProcHL7||RECIEVE||20080205163620.327||ADT^A28^ADT_ZA
1|20080205163620327|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
ZVN||20080205163620||20004^美証^冬子^^^^^^L^^^^^|^~ジッショウ^フ
ユコ^^^^^^L^^^^^P|20070130160934|^1310335068010060^KC16
PID|||1301001^^^^PI||IBM^患一郎^^^^L|^アイビーエム^カンイチロウ
^^^^L^P|^19650415|M|||^^^^1038510^^H^東京都中央区日本橋箱崎町19
-21|13|^PRN^PH^^^^^^^^03-3808-4402-^EMR^PH^^^^^^^^03-3808-
4447|^WPN^PH^^^^^^^^03-3808-
4421|||||||||||||N|||20070130160934|^1310335068010060^KC16
...
```

アプリケーション・ログの例

```
02/07 13:30:48 D (C)受信したメッセージの解析結果を
E:¥cislsv300.std9¥bin¥log¥02-1.基本情報-20080207133048-msg-rcv.txt に保
存します...
02/07 13:30:48 I ZVNセグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I PIDセグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I NK1セグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I 解析結果は以下の通りです
02/07 13:30:48 D [基本] 患者ID=/1501001/
02/07 13:30:48 D 患者氏名(漢字)=/SSI 患者基本/
...
```

(1) 参照する技術情報

1. JAHIS基本データセット適用ガイドライン Ver.3.0
2. HL7 FHIR Jp Core 実装ガイド
<https://simplifier.net/guide/jpfhirjp/fhirjp>
3. 診療情報提供書 HL7 FHIR 記述仕様案
<https://www.jahis.jp/standard/detail/id=564>
4. HL7 FHIR
<https://www.hl7.org/fhir/>

(2) 主な注意点

- 1) 今年度の実証実験はエクスポート審査のみとする。
- 2) Bundleリソースは審査対象外とする。
- 3) コード変換する場合、ローカル・コードと標準コードの対応表を別途提出する。
(ポリシー値は○)
- 4) ポリシーシートの「備考」欄への記載要件は昨年と同様とする。
 - ーコメントを含むすべての項目でカタカナ、記号の全角、半角の違いは問わない。
(ポリシー値は○)
 - ー日付(和暦を除く)、時刻、郵便番号、電話番号のフォーマットの違いは問わない。
(ポリシー値は○)
 - ー予定時刻の秒の有無や違いは問わない。(ポリシー値は○)
 - ー名称をマスターから取得して出力／取り込む／表示する場合は備考欄への記載は不要とする。(ポリシー値は▲)

(2) 主な注意点

5) 更新日時

－meta.lastUpdated属性に「YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00」形式で指定する。

例)

```
"meta" : {  
  "lastUpdated" : "2020-03-31T09:12:34+09:00"  
}
```

6) システム名

- －標準規約、標準マスター以外のシステム名は任意とする。
- －使用する共通コードのシステム名をテーマごとに事前指定。
- －ローカル・コード用のシステム名は各社で任意に指定する。
ただし、共通コード用のシステム名とかならないこと。

(2) 主な注意点

7) 氏名の表現

- －name要素はHumanName型で指定する。ただし、name要素では氏名の文字種（ローマ字、漢字、読み仮名）を区別できないため、EN-representation拡張を使用する。
- －extension.urlの値は以下の値を使用する。
”http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation”
- －extension.valueCodeの値は、ローマ字氏名は“ABC”、漢字氏名は“IDE”、カナ氏名は“SYL”を使用する。

例)

```
"name": [{  
  "extension": [{  
    "url": "http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/iso21090-EN-representation",  
    "valueCode": "IDE"  
  }],  
  "use": "official",  
  "text": "実証 一郎",  
  "family": "実証",  
  "given": [ "一郎" ]  
}]
```

(2) 主な注意点

8) その他

- －エクスポート審査時の比較対象は画面ではなくDB内のデータとする。
- －DBの内容を出力するスクリプトの準備を求める。
- －機種依存文字(①、②など)は出力しないこと。

(2) 主な注意点

9) リモート拠点から参加する場合の注意点

- 全テーマをリモート対象とします。
審査員の方々もリモートでの参加をお願いします。
- エクスポート審査でDBダンプおよび画面確認のプロセスがあります。
Skype for Businessの会議を用意しますので、Skype経由での画面共有
およびチャットにもとづきコミュニケーションください。
- 会議等で不在の時間があったり、業務都合で審査中断が必要な場合が考
えられます。事前にわかっている場合は画面確認が必要となる審査の申
請時に申し出てください。
- コネクタソン会場に在席している場合と比べてコミュニケーションが取り
づらくなります。コネクタソン会場での審査と比べ時間がかかりうる点ご
了承ください。
- Skype会議不調時に備え、リモート拠点への連絡手段/方法を専門委員長
へご連絡ください。

(3) 患者IDの命名規則、桁数

××△△ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

- ・ 桁数:10桁
 - ・ 命名規則
 - ××: 会社ごとに割り振る一意な番号(参加会社で一意)
 - △△: テーマごとに割り振る一意な番号
 - ＊＊＊＊＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ : 任意の数字
- ※ ××△△は以下の通り

会社ID (上2桁)	会社名	患者情報 (テーマ01)	病名情報 (テーマ02)	処方情報 (テーマ03)
11	富士通Japan(株)	1101*****	1102*****	1103*****
12	日本電気(株)	1201*****	1202*****	1203*****
13	日本アイ・ビー・エム(株)	1301*****	1302*****	1303*****
14	(株)日立製作所	1401*****	1402*****	1403*****
15	(株)ソフトウェア・サービス	1501*****	1502*****	1503*****
18	三栄メディシス(株)	1801*****	1802*****	1803*****

(4)使用する共通マスター 利用者マスター

利用者ID	漢字氏名	カナ氏名	職種
10001	実証 一郎	ジッショウ イチロウ	医師
10002	実証 二郎	ジッショウ シロウ	医師
10003	実証 三郎	ジッショウ サブロウ	医師
10004	実証 四郎	ジッショウ シロウ	医師
10005	実証 五郎	ジッショウ ゴロウ	医師
20001	実証 春子	ジッショウ ハルコ	看護師
20002	実証 夏子	ジッショウ ナツコ	看護師
20003	実証 秋子	ジッショウ アキコ	看護師
20004	実証 冬子	ジッショウ フユコ	看護師
30001	技師 雪子	ギシ ユキコ	検査技師
30002	技師 月野	ギシ ツキノ	検査技師
30003	技師 風太	ギシ フウタ	検査技師
30004	技師 花子	ギシ ハナコ	検査技師

病棟

病棟コード	病棟名
031	3 A
032	3 B
041	4 A
042	4 B

ベッド(各病室共通)

ベッドコード	ベッド名
1	1
2	2
3	3
4	4

病室(各病棟共通)

病室コード	病室名
01	0 1
02	0 2
03	0 3
04	0 4
05	0 5

診療科

診療科CD	診療科名	診療科CD	診療科名
01	内科	21	性病科
02	精神科	22	こころ門科
03	神経科	23	産婦人科
04	神経内科	24	産科
05	呼吸器科	25	婦人科
06	消化器科	26	眼科
07	胃腸科	27	耳鼻いんこう科
08	循環器科	28	気管食道科
09	小児科	29	理学診療科
10	外科	30	放射線科
11	整形外科	31	麻酔科
12	形成外科	32	人工透析科
13	美容外科	33	心療内科
14	脳神経外科	34	アレルギー
15	呼吸器外科	35	リウマチ
16	心臓血管外科	36	リハビリ
17	小児外科		
18	皮膚ひ尿器科		
19	皮膚科		
20	ひ尿器科		

(4)使用する共通マスター 名前空間と識別ID

項目	Path	system値 (URI)
患者ID	Patient.identifier	urn:oid:1.2.392.100495.20.3.51.1[保険医療機関コード(10桁)]
利用者ID	PractitionerRole.identifier	urn:oid:1.2.392.100495.20.3.41.1[保険医療機関コード(10桁)]
診療科		urn:oid:1.2.392.100495.20.2.51.1[保険医療機関コード(10桁)]

(5)エクスポートファイルのファイル命名規則

<会社ID><会社英名>_<テーマID>_<シナリオNo>_<データ内容>.**json**

<会社ID、会社英名>

会社ID (上2桁XX)	参加会社名	英名
11	富士通(株)	fujitsu
12	日本電気(株)	nec
13	日本アイ・ピー・エム(株)	ibm
14	(株)日立製作所	hitachi
15	(株)ソフトウェアサービス	softs
18	三栄メディスン(株)	sanei

<テーマID、シナリオNo>

テーマID	テーマ名	シナリオNo	リソース
テーマ01	患者情報	シナリオ 1	Patient
		シナリオ 2	Observation
テーマ02	病名情報	シナリオ 1	Condition
テーマ03	処方情報	シナリオ 1	MedicationRequest

<データ内容>

データID	データ内容
患者	患者情報
病名	病名情報
処方	オーダ情報（処方）／実施情報（処方）

※アップロード時はWeb審査支援ツールがこの命名規則に沿って自動的にリネームするので、手元のファイルの名前は気にしなくてよい。

※例:IBMがPatientオーダ情報(処方)のテーマのシナリオ1で出力した最新の患者情報の場合
「13ibm_テーマ01_シナリオ1_患者.json」

(1) 実証実験専用メーリングリストの利用方法

質問に合わせて表題を下記規則に従って記載

- ・ 共通情報編 → 【共通】
- ・ データの互換性 → 【テーマ名】
- ・ その他事務連絡 → 【その他】

(2) 実証実験に関する主なイベント

12月17日(金)	説明資料読み合わせ
12月24日(金)	ML登録ユーザー一覧提出(メール)
1月上旬	実証実験用ML開設
1月28日(金)	ポリシー、データー一覧、電文、審査表の作成
1月28日(金)	参加テーマ表明(メール)
2月11日(金)	ポリシー、データー一覧の事前提出
2月11日(金)	審査員担当予定表の提出(メール)
2月17日~2月22日	実証実験本番
3月上旬	反省会(データ互換性専門委員会にて)
4月	JAHISホームページへの結果掲載

(3) 参加会社への依頼事項

1. ML登録ユーザー一覧の提出(※)(12月24日)
2. 参加テーマの表明(1月28日までにメールで)
3. 以下の情報の事前提出(2月11日)
 - ーエクスポート・ポリシー(「ポリシー一覧」シート×テーマ数)
 - ーエクスポート・データ一覧(「データ一覧」シート×シナリオ数)
 - ー標準コード・ローカルコード変換表
4. 審査員担当予定表の提出(2月11日)
5. 審査用 Note PCの持参(実証実験当日)
 - ーMicrosoft Officeが導入されていること(2013以上を推奨)
6. 反省会への積極的な参加(3月上旬)

※会社単位でメールにて専門委員長(kubota.nalshige@fujitsu.com)まで送付ください。

(4) 作業場所、電源、IPアドレスなど

在席参加の方は各社で確保したものの中でまかなう。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました